教科書検討の観点から見た特色

情報Ⅱ／116日文／情Ⅱ703

1．内容（特色のある教材や記述）

●学習指導要領に基づき，幅広く高度な知識や技能も積極的に取り扱われている。

●解説は一般論で丁寧に解説されており，記述項目も多く，理解を深めやすい。

●Webサイトの制作や情報システムの開発，機械学習による分析など，高度な学習項目も，無理なく学習できるように，要点がわかりやすく記述されている。

●情報システム開発では「文化祭」がテーマとして設定されており，身近な内容が取り上げられ，生徒が主体的に取り組めるように配慮されている。

●実習は手順が丁寧に示されており，生徒の習熟度のばらつきに対応できる。

2．構成（特徴のある単元の組織・配列）

●序章のチェックリストは生徒の理解度を把握するのに有効であり，自己評価にも活用できる。

●第1章以降の構成は基本的に「情報Ⅱ」の学習指導要領の並びと同一で対応がわかりやすく，特定の事項・分野に偏ることなく，全体として調和がとれている。

●第2章～第4章は，解説内容からスムーズに「章末実習」の段階に移行できる内容になっており，効率的に学習が進められるように配列されている。

●学習指導要領の（5）「情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究」は，第5章に位置づけられ，年間の学習を総括するに相応しい実習が用意されている。

3．分量（教材の分量や詳しさのバランス）

●解説ページは見開き完結で内容が整理されていて，扱いやすい。

●「情報Ⅱ」の学習目標を達成するために必要な解説が記載されている。

●読めば理解できる十分な文章量で，自学自習もしやすい。

●用語の意味は側欄で詳しく説明されていて，その量も十分である。

●学習に必要なソースコードは漏れなく示されており，その解説の量も適切である。

●図表や写真はわかりやすく，効果的に用いられている。

4．表記・表現（使用上の便宜）

●本文における解説は冗長な部分はなく，適切である。

●イラストや図解が要所で示されていて，視覚的に内容を理解しやすい。

●無駄のないレイアウトですっきりとした印象があり，読みやすい。

●側欄で説明されている用語には番号が振られ，対応がわかりやすい。

5．創意工夫（学習の動機づけ等の工夫）

●側欄などに示されたキャラクターのセリフは，学習内容を身近に感じさせながら，「主体的・対話的で深い学び」に導く役割を果たすと同時に，理解を促す役割としても機能している。

●2次元コードにより，プログラムのソースコードをダウンロードすることができ，実習に役立てることができる。

●ページ番号の下に2進表現と16進表現が併記され，基数変換の理解を助けることができる。

6．学習の深まり（他教科，総合的な探究の時間との関連等）

●序章では，「情報Ⅰ」の学習内容を振り返られるようになっており，「情報Ⅰ」と「情報Ⅱ」の内容との相互の関連がはかられている。

●第3章の「データ分析」では統計的な手法の解説が取り上げられていて，数学科との関連を意図した授業を展開しやすい。

●第2章で扱われる「コンテンツの制作」や第5章の「データ分析」などの実践的な内容は，「総合的な探究の時間」や他教科での学びに加え，将来においても役に立つ。

7．学習環境への配慮（学校の独自性への配慮）

●学習内容は一般論で説明されていて，特定のコンピュータやソフトウェアに依存していない。

●実習で必要になる各種データや成果物の完成例ファイルは，教授資料などでサポートされている。

8．その他（その他の全体的特徴，周辺教材の状況）

●全ページ4色刷りでカラーユニバーサルデザインにも配慮されており，印刷も鮮明である。

●全体にわたってUDフォントが用いられており，読みやすく，読み間違いにくい。

●長期間の使用に耐えられるよう表紙は丈夫で防水性もあり，製本も堅牢である。

●環境への配慮から，再生紙と植物油インキが使用されている。

●教授資料には教科書のデジタルデータが添付されているため，必要に応じて加工するなどして便利に活用できる。